

平成26年8月19日

第3回愛西市小中学校適正規模等検討委員会 会議録

署名者

委 員 _____

委 員 _____

第3回愛西市小中学校適正規模等検討委員会 会議録

開会日時 平成26年 8月19日(火) 午後2時00分
閉会日時 平成26年 8月19日(火) 午後3時45分
場 所 愛西市役所八開庁舎 第4会議室

■ 出席委員

委員長	伊藤勝康
副委員長	佐藤重樹
委員	伊藤千恵
委員	鬼頭朋子
委員	伊藤正憲
委員	杉山礼子
委員	佐藤有見子

■ 欠席委員

委員	平晋一郎
----	------

■ 事務局

教育長	加藤良邦
教育部長	五島直和
教育部次長	高山典彦
学校教育課長	佐藤信男
課長補佐	鈴木一代
課長補佐	近藤幸敏
主事	市橋美紗希

■ 傍聴者

なし	
----	--

1 開会

2 前会会議録の承認

3 議題

- (1) 適正規模及び配置の適正化に係る具体的な方策について
- (2) 次回会議の日程及び議題について
- (3) その他

3 閉会

<p>【事務局】</p>	<p>皆さんこんにちは、それでは第3回愛西市小中学校適正規模等検討委員会を開催いたします。</p> <p>平委員につきましては、欠席のご連絡がありましたのでご報告いたします。なお、前回の会議録につきまして、署名を頂きましたのでご報告いたします。</p>
<p>【事務局】</p>	<p>最初に資料の訂正をお願いします。資料№19 学級規模別学校区分一覧につきまして、中学校の表に平成26年度実数（H26.4.7現在）と記載していましたが、平成26年度の誤りでした。また、その比較で平成31年度の推計の表と記載していましたが、小学校と同じ、平成32年度の推計でした。お詫びして訂正いたします。</p> <p>それでは、委員長に議題の進行をお願いしたいと思います。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>ありがとうございました。愛西市小中学校等適正規模等検討委員会では過去2回の会議にわたって、過小規模校、小規模校と大規模校について話し合いをしてきました。</p> <p>今回の会議ではもう一度、適正規模の学校を何故目指さなくてはならないのか。愛西市の小中学校を中心に、適正化の必要性について探っていきたいと思います。</p> <p>次に、適正な学校規模というのはどのような事が出来る学校なのかを考えていきたいと思います。</p> <p>次に、具体的に適正な学校規模、適正な学校の基準、適正化を図る方法、適正化の考え方という内容で進めていきたいと思います。</p> <p>それでは、何故適正化が必要であるのか。小規模校の課題を中心に検討したいと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>小規模校になってクラスの人数が少なくなると、その子たちの中でのいろいろな考えを言いあえるし、教師もそれがよくわかる。しかし人数が少ないと、意見の量が少ないと思う。今ではテレビ会議なども出来るが、担任としてはなかなかやっていくのが難しい面もある。</p> <p>小規模校では、1人1人の様子を良く見られるので、担任も力を伸ばす、ことが出来ますが、人数がもう少しいたほうがいろんな意見がでるのではないかなと思う。</p> <p>生活上の問題であると、教師達が子供の状態をよく見られることはいいと思うが、子供たち同士の仲違いがおきた場合、解決をしないとずっとそのままクラスが変わらないという事が起こる。楽しいと思えるような環境にするにはクラス替えて他の子との繋がりも必要なのではないかと</p>

	<p>と思う。</p> <p>他には競技会などで、チームで戦わなければいけない場合に高学年の人数が集まらなると大変だと思う。本番での活躍は沢山できると思うが、練習になると人数が少ない事で苦勞をするのではないかと思います。</p>
【委員長】	<p>ありがとうございました。中学校について意見はありますか。</p>
【委員】	<p>中学校ですと小規模校であると部活の数を減らさざるを得ない。顧問の数を確保できない。将来的なことを思うと、人数が増えない事によって、作りたいのに部活を増やせないといった問題であると思う。</p> <p>しかし、視点を変えてみると過少小規模校が本当に駄目な事であるのかが疑問である。児童生徒数が少なければ、きめ細やかな指導が出来ると思う。文部科学省でも少人数で指導を勧めている。そういった面で見ると、『少人数指導＝小規模校』であるので、必ずしも少ないから悪い事ばかりではないと思う。確かに少なすぎは駄目だとは思いますが、きめ細やかな指導というのは保護者の方も望んでいると思う。</p>
【委員長】	<p>学習、生活の面では何か困ると思うことはありますでしょうか。</p>
【委員】	<p>単学級の場合は仲間関係のことを考えると、クラス替えが出来ない事は適正ではないのではと思います。</p>
【委員長】	<p>ありがとうございました。他に意見はありますか。</p>
【委員】	<p>学習面では補助の先生が入ることもある。そういった点ではできる子、できない子、学習の能力の違いをちゃんと見て貰っている感じがする。</p> <p>しかし、クラス内の競争心が無くなってしまう。授業中に手が上がらなくなってしまうのは問題があると思う。</p> <p>生活の面であると、クラス替えが無いこと、保育園から中学校までずっと同じメンバー。少人数のため、2クラスであったのが1クラスになってしまう事もある。そうなると、クラス替えで新しい友達ができるという機会がなくなる。ずっと同じクラスだと一度こじれてしまった友情を修復するのが難しい。クラス替えをする事によって勉強や生活の面でも良い方に変わる事もあると思う。</p>
【委員】	<p>少人数の方が学習面であるとしっかり見てもらえている気持ちはある。しかし、競争心が露骨に出るかと言えば、今の子どもたちは出にくい傾</p>

	<p>向にあると思う。これから高校生、社会に出て行くにあたって、そういう面もないと心配だと感じる。</p> <p>しかし、授業を受けていても、できる子はいいが、できない子はある。先生は友達とのコミュニケーションの意味でわからない子に「答えのわかった子に聴いてみなよ！」と言うが、出来ない子にとってはそれが引っかけになる事がある。</p> <p>答えのわかる子も聞かれる事によって教える力は身につく。聞いてみる事が良いこともあるが難しい子もいるといった話は聞いている。</p> <p>部活動の面でいうと、少人数の場合、選べる部活が限られる。やりたい部活動が学校にないと、やりたいスポーツとは別の部活動に入って、やりたいスポーツの方は習い事で続けていたりする。陸上競技会に出場する場合も人数が少ないので部活動後に、競技会の練習をしたりしている。その後に塾や習い事に行く子もいる。</p> <p>人数がいないとハードな生活になってしまう。最初の頃は体が慣れていない。選手に選ばれるのは嬉しい事だと思うが、大変そうだと見ていて思う。</p> <p>生活面で思うことは少人数であると子供同士のトラブルがあると親が出てくることも多々ある。親同士、子ども同士うまくいかない。けれどクラスは変わらないであると少し辛いと思う。ある程度人数がいたほうが親同士、子同士うまくいくと思う。</p>
【委員長】	<p>ありがとうございました。他に意見はありますか。</p>
【委員】	<p>少人数であることが良いことも沢山あると思う。ずっと同じメンバーであるとクラスの子の良いところ、悪いところが把握できる。その上で、上手にお付き合いしているなと思う事がある。駄目な所を駄目だと指摘するのではなく、そういった面も含めて人間関係を作っているなと思う。</p> <p>しかし、子供同士の距離感と親同士の距離感が近すぎている感じがある。ある程度人数がいれば少し距離を置いた付き合いもできると思うが、どうしても「子供の関係＝親同士の関係」となりがち。親同士、子同士がうまくいっている間はいいが、少しこじれた時にクラス替えは無いし、小中学校でずっと一緒だとなると面と向かって意見が言えず、遠慮し合っ、実はこんな事が…という悩み相談も受けたりする。</p> <p>1クラス35人と言われていますが、私は良い事だと思います。</p> <p>部活動や競技会の面で見ますと、色々な競技に出させて頂けるのは凄く有難いと思います。沢山の競技に出ざるを得ない、リーダーを率先してするタイプの子もそうでない子も一通り役をしないといけないのは有</p>

<p>【委員長】</p>	<p>難しいと思う。</p> <p>ありがとうございます。それでは、指導する立場で考えて、小規模校としての課題はなにかありますか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>指導の研究や教材の研究とは職員個人の気持ちに前提があります。小規模校であると出張が重なってしまった時に研修会に出席出来なくなるという課題があると思います。</p> <p>また、複数のクラスがあれば同じ学年どうして意見を交換し合ったりして良いものを作り上げていく事が出来ますが、単学級であるとすべて一人でなくてはならない。個人で前向きに研修会などに参加していても、そういった点で参考になる意見が少ない事もある。</p> <p>今現在、教職員は年齢層が若くなってきている。ミドルリーダー的な人が少なく、若い人だけで話し合い、担任をする。しかし、求められる経験を上げるためには経験を積んだ人との話し合いが必要だと思う。全体では指導もするが、同じ学年で教えてもらう機会は少ないと思う。</p> <p>教科外の学校行事、課外活動では一人の職員が色々な行事について案を練っていかなくてはいけない。大規模校であると複数の人で話し合いが行える。教師としての仕事量は大規模校よりは多いのではないかと思う。</p> <p>施設設備の課題としては、小規模校のメリットとしてはクラス数に対して特別教室の割り当てが多くなる。活用上の課題としては、大規模校も小規模校も変わらないのではないかと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>評価的なことで言いますと、教科担当が一人しかいないことによって、評価協議会の時間を一人で行うことがある。誰に教えてもらえばいいのかといった課題がある。今は他の学校の模範授業を聞きに行ったりもしている。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>それでは、他に課題はありますか。</p>
<p>【委員】</p>	<p>先生の数が少ないと先生一人の負担は多くなると思う。たとえば運動会などで子供の人数が少ないと器具を出したりするのに先生を一人立たせないといけなくなる。他の子供達は本部であっちこっち動き回って、ケガをすると、そこでまた先生を一人立たせなくてはいけなくなるので、大変だと見ていて感じる。</p> <p>ただ、出張などで担任でない先生が代わりに授業をするのは新鮮味が</p>

<p>【委員】</p>	<p>あって良いと言った子供の声も聞いている。</p> <p>小規模だとあまり得意ではない教科でも指導しなくてはいけないことがある。</p> <p>専門でない先生が頑張って勉強をして教えてくれても、実際に子供たちはわかっていないという事もあると思う。</p>
<p>【委員】</p>	<p>大規模校であると教師が沢山いるので、仕事を分担できるが、小規模校の場合それができない。学校ごとに仕事の数は決まっているので、経験のある、できる人にばかり仕事が回って負担になる。</p>
<p>【委員】</p>	<p>小規模校と大規模校の差というのはそういった点もあると思う。</p> <p>同じような行事をする際に職員が少ないと、企画や、書類作りや、将来的な向上など子供を見る以外の準備も必要になる。そういったものを抱え込んでいるので、一人の仕事量が膨大になる。職員の数が少ないというのはそういう事だと思う。</p> <p>専門外の教科を教えるというのは、先生は一生懸命教えてくれるけれども、正直、専門の先生よりはわかりづらい事もあると思う。自分の専門教科、自分の仕事を集中してするには、ある程度の教員数が必要になるのではないかと思う。その方が子供達にも良い影響になるのではないかなと思います。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>それでは、地域との連携について小規模校としての課題がありましたら、意見ををお願いします。</p>
<p>【委員】</p>	<p>小学校の役では、地域の子供達がどんどん減っていくと、今までは6年間で1回しか回ってこない役であるのに何度もやる事になる。中には子供がいないので何年もという人もいる。仕事をしている人だと仕事を休んで役をしている人もいる。わりと協力的な方もいるので、都合が合わない場合は交代して上手くやっちはいるが、2年、3年と続くと大変だと感じることもある。</p>
<p>【委員】</p>	<p>学校での役員がクラスで二人と決まっている。人数が少ないので何度も役員にならなくてはいけない。</p> <p>みんなで協力していけるのはメリットだと思うが大規模校であると役に着かない人もいると思う。役員の負担が多くなる所は困ると思う。</p>

【委員長】	今は役員の研修会や会議というものはあるのでしょうか。
【委員】	部長、副部長はそういった会議に出ることもある。
【委員長】	地域との協力体制ということで、地域から学校へお願いされることや、学校から地域へお願いされることで、何か問題点はありますでしょうか。
【委員】	特にそういった話は聞いておりません。
【委員長】	ありがとうございます。それでは、適正な学校規模、配置をする事を前提として、どうすれば適正規模になるのか、1クラスの人数や学級数、先生の配置などについて検討をしたいと思います。
【委員】	専門性のある、体育や音楽、家庭科、理科など、小規模校であると、得意ではない科目を教えなくてはならないといった事があります。学校の中に専門性のある先生が教科ごとにくれる事が理想かと思いません。
【委員】	学級の人数として、少ないよりは多いほうが良いとは思いますが、あまり多すぎるというのも困りますので、35人学級よりも少ないクラス数で、単学級でない事が望ましいと思います。
【委員長】	教職員の人数が多いほど、子供たちの要望に応えることができるという事ですね。他にはどうでしょうか。
【委員】	望ましい学級数及び生徒数として、1学級の人数はできるだけ少なく、教職員は多ければ多いほど良いと思います。
【委員】	学級の数は、2クラスはあったほうが良いと思います。35人学級を勧めている今、小学校では1・2年、中学校は1年生の時点で、クラスの人数が36人になると2クラスになります。すると18人のクラスが2つできます。その位の人数が理想なのではないかと思えます。
【委員長】	先生の数が少ないと部活動の数の制限が出てくる事はありますか。
【委員】	部活動であると複数顧問が理想です。誰かが出張に行っても、指導ができる。という形が良いのではないかと思います。小規模校であると人数が少ないので難しいと思います。

【委員長】	<p>同じように、小学校でも先生方の人数が少ないとクラブ活動の種類も少なくなりますか。</p>
【委員】	<p>文化系のクラブ、運動系のクラブと大きく別けて活動する事になるかと思います。</p>
【委員長】	<p>集団生活の中で、個人が成長していくには、適正規模の学校でないとなかなか難しいでしょうか。</p> <p>規律や自主性、協調性を持って行動する。コミュニケーション能力が育つにはある程度的人数が必要となりますでしょうか。</p>
【委員】	<p>中学生になると部活が一緒の子と行動する機会が多いと感じる。性格もあると思いますが、他の子と合わせて行動する子が多く、前に立って引っ張っていく子は少ない気がする。</p>
【委員長】	<p>人数が多い方が良いといった意見はありますか。</p>
【委員】	<p>人数が少なければ少ないなりに、協調性やコミュニケーション能力はありますが、後に人数が多くなった場合、自分を出す事が難しい。</p> <p>友達同士のグループの中で、進んで行動できる子はいる。しかし小規模校であると、それぞれの性格が判っているので、その中で今度は自分が先頭に立つというような子が出にくい。大規模の学校であると競争心が芽生えて、自分から進んで前に出る子も増えるのではないかと思います。</p>
【委員長】	<p>ありがとうございました。</p> <p>適正規模を考えるにはまだまだ意見があるかと思いますが、ある程度望ましい学級数、具体的な例えとして、クラス替えはできたほうが良い。子どもの数は少なすぎず、多すぎず、20人前後がいいのではないかと。</p> <p>子どもが育つには、集団生活として、規律や協調性、競争心、コミュニケーション能力を育てられるような人数が良いのではないかと。</p> <p>指導者の立場でいくと、複数の先生が配置できるような規模がいいのではないかと。</p> <p>教職員の事で言いますと、中学校の場合は教科担任ですので、専門教科外にならない学校規模だと良い。あるいは、研修、研究についても、複数人で取り組めると良い。そのようなことが基本的な考え方になるのではないかなと思います。</p>

	<p>それでは、適正な学校規模、配置を考えるに当たって、適正基準を参考に話し合っていきましょう。</p> <p>愛西市につきましては、平成32年度に、適正規模校は小学校で3校、中学校で1校、残りの学校は小規模校の位置になるかと思います。もし、全てを適正規模校にするとすると、愛西市としての適正基準の考え方を持ったほうが良いと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>【委員】</p> <p>国の基準にぴったり揃えるのは難しいと思います。市内であっても地区の地域性などを踏まえて進めるべきではないかと思う。愛西市は旧町村の地域性が抜けていない気がする。市が独自で学区を越えて適正にするということはできるのでしょうか。</p> <p>【委員長】</p> <p>適正基準に対して市は柔軟的に考える事ができるのか。校区の再編するに当たって、市が独自でできるのかどうか。後ほど、事務局のわかる範囲で教えていただきたいと思います。</p> <p>それでは、他に意見はありますか。</p> <p>【委員】</p> <p>愛西市はやはり旧町村の地区で動いていると思います。市としてそれが解消できるのか、通学区域が遠くなった場合、スクールバスは運行できるのか。それに伴う問題が出てくると思うので、そういった点が解決できるのが課題になってくると思います。</p> <p>【委員】</p> <p>国の基準は12～18学級とあります。愛西市全体のメリット、デメリットはあるかと思いますが、準適性規模という事で、今の状態でも許される範囲ではないかと思います。1学年ない場合は適正ではないと思いますが、1学年1クラスあれば…2クラスあることが理想だとは思いますが、学校で工夫をすれば、許される範囲ではないかと思います。</p> <p>【委員長】</p> <p>適正基準が12～18学級というのはあくまでも基準なので、1学級あればなんとかできるのではないかといった意見です。学年で1学級ないと難しいということですね。</p> <p>それでは先程のクラス数と校区の再編について、市が単独で、できるのか教えていただきたいと思います。</p> <p>【事務局】</p> <p>学校教育法施行規則第41条において、小学校の学級数は、12学級以上、18学級以下を基準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りではない。</p>
--	---

<p>【委員長】</p>	<p>まず、クラス数に関しては、その市である程度決めることができます。クラス中の人数の関係はまたお調べしてから報告いたします。</p> <p>通学区域の再編については可能です。実現できるかは検討したいと思いますが、選択肢のひとつとしては可能です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>適正基準につきましては、国の基準がありますが、法律的にも適正基準というのはあくまでも基準ですので、市として柔軟性のある対応はできるだろうということです。</p> <p>校区の再編につきましては、市で地域の事情等がありますので簡単ではありませんが、可能であるといった回答でした。</p> <p>それでは、適正化を図るには色々な方法があるということで、率直な意見、こうすれば適正化になるのではないかといった意見がありましたらお願いします。</p>
<p>【委員】</p>	<p>理想としては小中一貫教育ができれば良いのではと思います。少し具体的に言いますと、八開地区であれば八開地区の小学校、中学校を纏めた施設の中で、通学区域が遠い子供達はスクールバスで通学できるような小中一貫校が良いのではないかと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>自分の卒業した小学校、中学校が無くなる事ほど寂しいことはない。ですので、地域の人たちの気持ちを考えれば、小中一貫校や通学区域の再編はやめたほうが良いと思います。</p> <p>別の方法で適正規模を目指すためには少子化の改善を考えること。たとえば、市の取り組みとして、子育て支援を充実させて解決する方法が良いのではと思います。</p>
<p>【委員】</p>	<p>小中一貫教育を行っている学校はどのような感じなのでしょう。</p>
<p>【委員長】</p>	<p>私も詳しくは解りませんがやはり一長一短あると聞いています。</p> <p>次回、事務局の方で小中一貫教育のメリット、デメリットの資料があればお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、小中一貫教育を考えるとよいのではといった意見、地域の事情を踏まえ、現状のまま改善していくといった意見が出ました。</p>
<p>【委員】</p>	<p>通学区域の再編や、校舎の建て替えとなると、地域の歴史や、これまでのコミュニティで築き上げたものを壊すことになりかねない、それを</p>

